**＜代筆について＞**

【代筆の支援内容】

　　上肢が不自由な利用学生の授業ノートの作成

　　　⇒上肢障がい学生は健聴者であるため、聴覚障がいのある学生へのNT・PC通訳とは異なる

【代筆を行う上での心得】

①相手の読める字を書くように意識し、復習可能なノート作りを心掛けましょう！

⇒**自分が受け取りたい**と思えるノート作りを！

②利用学生が求めるノートとなるよう**コミュニケーション**を重視しましょう！

【代筆方法】(詳細は個別カルテを参照)

1.車椅子用机の調整

2.ルーズリーフ、筆記用具を利用学生から受け取る

3.授業開始と共に代筆開始

具体的には…

・教科名、日付、ページ数を記入

・出来る限り利用学生がノートを見ながら受講できるように配慮する

・板書以外の話（雑談など）も書き取る(どこまで書き取るかは学生同士で相談)

4.授業終了後、ルーズリーフ・筆記用具を利用学生に返却

5.机を元あった場所になおす

【代筆における留意点】

・利用学生が**明らかに授業に取り組もうとしていない**場合（居眠り、スマホ操作等）→サポートを**中断**し、授業後に**支援室へ報告**

・どこまでノートに書けば良いか分からない場合

→利用学生に**確認・相談**をし、代筆内容を調整